

第2回区自治協議会のあり方検討委員会 資料 (案)

<主な検討事項 (見直しや廃止など)>

種別	検討内容	方向性 (例)
設置目的	コミ協 (自治会・町内会) ~ 自治協~区役所」という仕組みを通して区民の意見集約	周知を充実しながら, さらに推進していく
		区長への助言機関 (区の実情に合った組織) に代える ( <u>条例改正が必要</u> )
		コミ協連絡組織などに代える ( <u>条例改正が必要</u> )
地域代表	行政からの報告 (制度の説明など決定権がないものは, 自治会や市報を通じて行うなど)	継続する
		報告を減らすまたは廃止する
	「協働の要」の再定義	明確化し, 使用する
		新たなキャッチフレーズを考える 例: 区長への助言機関 ( <u>条例改正が必要</u> )
	自治協提案事業の企画, 実施, 評価	継続する
		役割を軽減するまたは廃止する
広報紙を自治協自らが発行	継続する	
	役割を軽減するまたは廃止する	
審議会	附属機関としての諮問/答申, 必須意見聴取	継続する (広く市政に対して, 意見を聴く)
		原則, 区政に絞って意見を聴く ( <u>条例改正が必要</u> )

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に精通したコミ協代表に加え, 専門家, 学識, 公募など多様な人材が参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員数が多くなり, 議論しづらい。</li> <li>議題によっては専門的で発言しづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>区長の裁量で必要な人材を参加させることができる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に精通したコミ協代表なので, 議論が活性化される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層, 専門家, 公募など多様な意見を区政へ反映させる機会が減る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域代表として課題解決に必要な情報を得ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の課題などを議論するための時間が減る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の課題などを議論する時間を確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の施策など行政からの情報が伝わりづらくなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して使用することで, さらに認知度が上がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な役割が分かりづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>より身近で具体的な表現とすることで, イメージしやすくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定着するのに, 時間がかかる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>区民が必要と考える事業に予算を使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協委員にとって企画, 実施, 評価と関わるが多いため, 負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のための議論に時間を使うことができる。</li> <li>自治協委員の負担が減る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の想いがすべて事業に反映されるとは限らない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>区民目線の広報が行える。</li> <li>自主的に行うため, 住民自治が促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協委員の負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のための議論に時間を使うことができる。</li> <li>自治協委員の負担が減る。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い議題を取り扱うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議対象が不明確になりがち。</li> <li>意見が出てこないことがある。</li> <li>自治協委員の負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>役割が明確になる。</li> <li>テーマが身近なので議論が深まりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議できる事項が少なくなる。</li> </ul>